

多剤耐性緑膿菌の検査結果と対応について（お知らせ）

平成23年10月14日

県立新発田病院長

矢澤 良光

当院で先に公表いたしましたとおり、9月に一部の病棟で多剤耐性緑膿菌を保菌している患者さんが3名確認され、うち1名の患者さんが多剤耐性緑膿菌の感染合併で死亡する事例が発生いたしました。

このためこれらの患者さんから検出された菌の遺伝子検査を国立感染症研究所へ依頼していましたが、昨日（10月13日）「同一株による院内伝播が強く示唆される」との結果が出た旨連絡を受けました。

病院といたしましては、このような事態となりましたことに対し患者さん、ご家族の皆様にお詫び申し上げます。現在、外部の専門家を含めた対策チームにより、原因究明と感染防止対策に、全力を挙げて取り組んでいるところであります。

なお、具体的には当面、次のような感染防止対策を実施します。

- ① 既存の感染防止対策委員会に加え、外部の専門家を加えた「対策チーム」を設置（既に設置済）し、専門家のご意見を踏まえながら、感染経路の調査と感染防止のための対策に当院の総力を挙げて取り組みます。
- ② 感染経路を調査するため、7B病棟を中心とした環境調査を実施（既に実施中）します。
- ③ 新たな感染拡大を防止するため、当分の間、7B病棟への新たな入院患者の受け入れを制限します。
- ④ 7B病棟については1日から2日間程度かけて病棟内の環境清掃・消毒を行います。具体的な日程等については決定次第お知らせします。

なお、環境清掃・消毒の実施中は入院中の患者さんについて院内の他の病棟や、他の病院へ転院していただくこととなりますが、詳細については個別にお知らせします。

患者さん、ご家族の皆様には、大変なご心配とご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、現在のところ新たな保菌者は確認されておりませんので、外来診療や救急外来は通常どおり診察いたします。

本件に関してご不明な点やご心配な点などがございましたら、下記までお問い合わせ願います。

◇ お問い合わせ先：

- 入院中の患者・ご家族：各病棟の師長
- 外来受診の患者・ご家族：地域連携センター渡辺師長（0254-22-3121 代表）